

市町村名	南風原町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	災害時等避難施設機能強化事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
担当部課名	総務部	総務課	事業実施年度	平成24 ~ 令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(2)	
事業内容	災害時における地域住民の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		~H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	18,266	2,500	1,250	1,250	23,266	
	B. 執行済額	18,027	1,512	1,176	1,250	21,965	
	うち 交付金充当額	14,421	1,209	940	1,000	17,570	
	執行率(%) (B/A)	98.7%	60.5%	94.1%	100.0%	94.4%	
執行状況の説明	H30年度において執行率が低かったが、それ以外の年度では執行率が90%以上で、最終的な執行率は94.4%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			~H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	災害時避難施設の機能改善・強化整備補助の完了	目標	11件	1件	1件	1件	1件
		実績	6件	1件	1件	1件	1件
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			~H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	災害時避難施設の機能改善・強化整備補助(1件)の完了	目標	整備の完了	整備の完了	整備の完了	整備の完了	整備の完了
		実績	整備の完了	整備の完了	整備の完了	整備の完了	整備の完了
	整備された避難所を活用した避難訓練の実施(年1回)の際に、参加者に対して災害時に有効に活用できるか等ヒアリングにより、本事業を検証する。	目標	-	-	-	1回	1回
		実績	-	-	-	1回	1回
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況					R3年度 目標/発現年度
	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
<b>事業完了後の成果目標</b> 整備された避難所を活用した避難訓練の実施(年1回)の際に、参加者に対して災害時に有効に活用できるか等ヒアリングにより、本事業を検証する。	目標	1回	—	—	—	1回
	実績	1回	—	—	—	1回
	目標					
	実績					
状況説明	<b>【R3年度】</b> ・本事業でバリアフリー化等の事業に対し補助を行った。 ・整備された避難所を活用した避難訓練を実施した。 ・避難所が有効に活用できるかヒアリングを実施した。					
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)			
<b>【R3年度】</b> ・本事業によるバリアフリー化等を実施した結果、避難所の機能を強化した。避難訓練の結果、避難所が整備前よりも有効に活用できる事を確認した。			<b>【R3年度】</b> ・訓練実施後のヒアリングにより、避難所確保の観点から整備箇所以外の設備等についても毎年点検が必要との課題が挙げられた。			
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)						
<b>【R3年度】</b> ・整備箇所を活用した訓練を実施した結果、整備箇所以外の設備点検についての課題が挙げられたことから、今後、整備箇所以外の設備点検の実施についても検討し引き続き災害時における地域住民の避難所確保を支援する。						

市町村名	南風原町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	北丘小学校西側避難通路整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の 強化		
担当部署名	教育部	教育総務課	事業実施 年度	平成 26	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路及び法面の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		~H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計	
	A. 予算現額	26,544	—	170,417	304,157	501,118	
	B. 執行済額	26,244	—	170,413	300,459	497,116	
	うち 交付金充当額	20,994	—	136,330	240,367	397,691	
	執行率(%) (B/A)	98.9%	—	100.0%	98.8%	99.2%	
執行状況の説明	学校の授業に配慮しながら事業を進めたことから令和元年度へ繰越しての事業完了となったが、計画通りに事業執行することができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	設計前の調査・測量	目標	設計前の調査・測量	—	—	—	—
		実績	設計前の調査・測量	—	—	—	—
	北丘小学校西側避難通路の基本設計の実施 (工事場所:北丘小学校西側階段 整備面積: 5014㎡)	目標	—	基本設計	—	—	—
		実績	—	基本設計及び 実施設計	—	—	—
	北丘小学校西側避難通路整備工事の実施	目標	—	—	—	工事の実施	—
		実績	—	—	—	工事の実施	—
北丘小学校西側避難通路整備工事及び管理 委託	目標	—	—	—	—	工事・管理 委託の実施	
	実績	—	—	—	—	工事・管理 委託の実施	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	調査・測量:5,014㎡	目標	調査・測量: 5,014㎡	—	—	—	—
		実績	調査・測量: 5,014㎡	—	—	—	—
	避難通路整備設置基本設計書の完了	目標	—	基本設計書 の完了	—	—	—
		実績	—	基本設計及び 実施設計の完 了	—	—	—
	整備工事の完了	目標	—	—	—	工事の完了	工事の完了
実績		—	—	—	工事の完了	工事の完了	

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	4年度 目標/発現年度
	整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標	1回以上	1回以上	—	—
	実績	0回	0回	—	—	—
	目標					
	実績					
状況説明	<p>【R2年度】 ・令和2年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和3年度に避難訓練を実施し検証を行う。</p> <p>【R3年度】 ・令和3年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和4年度に避難訓練を実施し検証を行う。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【R2年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。</p> <p>【R3年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。</p>			<p>【R2年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。</p> <p>【R3年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【R2年度】 ・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。</p> <p>【R3年度】 ・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。</p>						

市町村名 南風原町

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	津嘉山小学校南側避難通路整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制 の強化		
担当部署名	教育部	教育総務課	事業実施 年度	平成 26 ~ 平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容	津嘉山小学校は災害時に避難所として指定されており、小学校の南側集落からの避難通路としては未整備となっているため、災害時にも安全に活用できるよう整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計	
	A. 予算現額	6,086	25,202	—	47,113	78,401	
	B. 執行済額	6,086	16,538	—	41,636	64,260	
	うち 交付金充当額	4,868	13,230	—	33,308	51,406	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	65.6%	—	88.4%	82.0%	
執行状況の説明	平成30年度より避難通路の整備工事を行い令和元年度の事業完了となったが、計画通りに事業執行することができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	設計前の調査・測量	目標	設計前の調査・測量	—	—	—	—
		実績	設計前の調査・測量	—	—	—	—
	津嘉山小学校南側避難通路の基本設計の実施	目標	—	基本設計の完了	—	—	—
		実績	—	基本設計の完了	—	—	—
	津嘉山小学校南側避難通路整備の用地買収(371.5㎡)(工事場所:津嘉山小学校南側通路 整備:149.1㎡)	目標	—	—	実施	—	—
		実績	—	—	実施	—	—
津嘉山小学校南側避難通路整備工事及び管理委託	目標	—	—	—	—	工事・管理委託の実施	
	実績	—	—	—	—	工事・管理委託の実施	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	調査・測量:149.1m	目標	調査・測量:149.1m	—	—	—	—
		実績	調査・測量:149.1m	—	—	—	—
	避難通路整備設置基本設計書の完了	目標	—	基本設計の完了	—	—	—
		実績	—	基本設計の完了	—	—	—
	鑑定評価3箇所完了	目標	—	—	3箇所	—	—
		実績	—	—	3箇所	—	—
	補償調査3箇所完了	目標	—	—	3箇所	—	—
		実績	—	—	3箇所	—	—
	用地購入3箇所完了	目標	—	—	3箇所	—	—
		実績	—	—	3箇所	—	—
	整備工事の完了	目標	—	—	—	—	工事の完了
		実績	—	—	—	—	工事の完了

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	4年度 目標/発現年度
	整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標	1回以上	1回以上	—	—
	実績	0回	0回	—	—	—
状況説明	目標					
	実績					
	<p>【R2年度】 ・令和2年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和3年度に避難訓練を実施し検証を行う。</p> <p>【R3年度】 ・令和3年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和4年度に避難訓練を実施し検証を行う。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【R2年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。</p> <p>【R3年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。</p>			<p>【R2年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。</p> <p>【R3年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【R2年度】 ・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。</p> <p>【R3年度】 ・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。</p>						